

# 令和6(2024)年度事業報告書

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ

## 1 事業の成果

令和6年度は、新型コロナウイルスによる社会的な影響がほとんど見られなくなり、地域や家庭における交流や活動も活発さを取り戻してきた一年となった。私たちが提供するサービスの利用者数もコロナ前の水準に近づき、居場所づくりや情報発信などの事業も一層活気を帯びてきた。引き続き、一人ひとりに寄り添い、つながりを実感できる場づくりを大切にしていっている。

### ① 青少年健全育成の推進

【放課後キッズクラブ】 利用児童の増加に伴い、活動場所やスタッフの確保が急務となっているキッズクラブもある。全体としては、ベテランスタッフの高齢化により休職・退職が相次ぎ、求人对応やシフト調整に追われる状況が続いた。一方で、常勤職員の雇用に対する市の補助金加算が始まり、運営単位数の増加とあわせて常勤職員も増え、チームとしての体制強化につながっている。

また、横浜市が開発した入退館システムが令和7年度から導入されることが決まり、後期にはスタッフ研修が始まった。年度の切り替え時期に現行システムから新システムへの移行が重なり、現場では大きな混乱が生じ、対応に苦慮している。

### ② 子育て支援の推進

【西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート】4年目の運営となり、全市での拠点入退館システムの導入及び子育て応援アプリとの連携に対応するとともに、自拠点の公式サイトを全面リニューアルし、スマートフォンにも対応できるようサイトのレイアウト変更による利便性の向上、および施設内の様子が伝わるようコンテンツを改善した。

ひろばでは、双子や日本語があまり話せない外国人、プレパパママなどの来館が増え、これまで続けていた取り組みの成果がでている。日曜開館を年2回試験的に導入し、その中で利用者仕切りによる父親のトークの場も設けた。また、父親たちの声から、初めて父親が利用するきっかけとなる「パパおいで」の時間を平日に設定するなどの新たな取り組みをした。

利用者支援事業では、利用者の相談の中で把握したニーズから、新たにひとり親イベントを実施した。入園後ひろばを利用しなくなった利用者がアウトリーチ時に来てくれるなど、利用者とのつながりが深まっている。また、子育て支援団体・子育て関連施設連絡会のための研修交流会を実施した他、区内の子育て以外の相談専門員とつながる「西区センター地域会議」の主力メンバーとして活動することで、ダブルケア日韓プロジェクトで韓国チームが来日した際に障がい者施設を案内できたなど、ネットワーク事業でも成果があらわれている。3年目となった神奈川大学経営学部のマネジメントプログラム事業への協力では、学生発案の子ども服のお譲り会をみなとみらい秋まつりで実施、乳児健診でアンケートも実施するなど、学生の力を得て新たな取り組みができた。子育てサポートシステムでは、前年度配布開始のおためしクーポンの効果で利用会員が増加したが、提供会員は地域での取り組みなどで新規入会が増えたものの退会者も増えたため、不足な状況が続いている。

継続的に実施している子育てタクシーの研修受け入れや、メガロスとの新たな取り組みなど、地域の企業との連携も広がっている。

【親と子のつどいの広場】 西区・中区それぞれの状況に合わせて運営方法を見直し、ひろばや一時預かりの利用者数も徐々に戻ってきている。拠点と連携を図り、地域密着の支援に取り組んだ。

【子育て情報発信事業ベイ★キッズ】 計画通り毎週水曜日のLINE配信と年4回の情報紙発行を行うことができた。マリンFMの番組担当も継続し、多様な媒体での情報発信に取り組んできた。情報紙印刷費や郵送料の値上げにより、情報紙作成に係る費用負担が増加しているため、配架先や発行部数の見直しをした。

【子育て情報スポット（横浜アンパンマンこどもミュージアム内）】チラシやリーフレットの管理、掲示板の活用による情報提供に加え、市内の子育て支援に関する情報を収集・取材し、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagramなどのソーシャルメディアを通じて発信を行った。また、ベイ★キッズ LINE では月 1 回のレポート配信を継続。リアルとオンラインを組み合わせた情報発信を通じて、スタッフ間の連携を図りながら、地域の子育て中の母親たちも巻き込み、支援の循環を生み出す仕組みづくりを目指している。

③ 行政・企業・市民が協働するために必要な事業

【ダブルケア事業】 一般社団法人ダブルケアサポートの事務局運営を担うとともに、地域子育て支援事業の中でもダブルケアに関する講座やイベントを実施し、支援の啓発に取り組んだ。また、ダブルケアサポートが 2023 年度からトヨタ財団の国際助成を受けて行っている「日本と韓国のダブルケアに関する学び合い事業」においては、拠点スタッフがプロジェクトメンバーとして参画。韓国への視察及び韓国チームの日本視察受け入れ対応など韓国との交流を通じて得られた知見を、日々の拠点運営や支援活動にも活かしている。

④ その他

【法人全体研修】

今年度は初めて 2 回に分けて実施した。1 回目は放課後キッズスタッフ向けに、11 月 29 日「子どものケガの対応と関わり方」を開催（参加者 39 人）。2 回目は他事業のスタッフ向けに、3 月 3 日「子育て支援における対人援助」を行った（参加者 24 人）。分野ごとに分けて開催したことで、それぞれが日頃関心を持っているテーマにより深く向き合うことができ、参加者からも好評を得た。この研修は、普段は別の事業所で活動しているスタッフ同士が交流し、お互いの顔を知り、相談や協力がしやすい関係づくりを目的として、毎年実施している。今後も、風通しのよい職場環境をめざし、楽しみながら学べる機会を大切にしていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
青少年健全育成の推進	上菅田笹の丘小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	上菅田笹の丘 小学校 (保土ケ谷区)	32 人	利用登録者 337 人 (区分①143 人・区分② 194 人／学校在籍児童 925 人中)	54,061
	南太田小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	南太田小学校 (南区)	19 人	利用登録者 206 人 (区分①145 人・区分② 102 人／学校在籍児童 423 人中)	35,757
	浅間台小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	浅間台小学校 (西区)	23 人	利用登録者 164 人 (区分①92 人・区分②72 人／学校在籍児童 316 人中)	38,240
	本牧小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	本牧小学校 (中区)	14 人	利用登録者 123 人 (区分①66 人・区分②57 人／学校在籍児童 383 人中)	20,940
援ての支	親と子のつどいの広 場シャーロック BABy	4/1 ～	西区南軽井沢	8 人	未就学児の親子 延べ 1135 組 2295 人、	9,369 ※西区社協助

	(横浜市)	3/31			一時預り 80 人	成含
	親と子のつどいの広 場シャーロック BABy 本牧(横浜市)	4/1 ～ 3/31	中区本牧和田	7 人	未就学児の親子 延べ 1380 組 2938 人、 一時預り 110 人	8,973
	西区地域子育て支 援拠点スマイル・ポ ート(横浜市西区) ・広場運営 ・利用者支援事業 ・子育てサポートシステム	4/1 ～ 3/31	西区みなとみ らい	20 人	未就学児の親子 延べ 17,605 人	46,003 ※プレパパママ 事業委託費含
	よこはま子育て情報ス ポット (横浜市)	4/1 ～ 3/31	横浜アンパン マンこどもミュ ージアム内(西 区)	7 人	子育て中の親子・子育 て支援者・来館者	1,368
	ベイ★キッズ (自主事業)	4/1 ～ 3/31	横浜市全域	6 人	妊娠中～小学生の保護 者及び関係者	1,811
市 行 政 ・ 企 業 ・ 民 政 協	ダブルケア事業 (自主事業)	随 時	西 区 南 軽 井 沢	1 人	全国のダブルケア当事 者、支援者等	62

※従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数は令和 7 年 3 月末時点。

※放課後キッズクラブの事業費には補助金戻入 6,601 千円(上笹 3,049,270、南 1,525,490、浅 1,929,992、本牧 96,700) を含む。

※高齢者等、異世代交流の推進等に関する事業は単体ではなく上記各事業に含む。

## (2) その他の事業

実施なし

法人名： 特定非営利活動法人シャーロックホームズ

## 活動計算書

2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日 まで

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正準会員受取会費	473,000		
賛助会員受取会費	0	473,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	100,000	100,000	
3. 事業収益			
A受託事業収益	46,551,070		
C補助金事業収益(利用料等)	19,351,550		
D自主事業収益	710,750	66,613,370	
4. 受取補助金等			
受取補助金	149,237,130		
受取助成金	930,000	150,167,130	
5. その他収益			
受取利息	8		
雑収益	0	8	
経常収益計			217,353,508
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	158,075,376		
通勤手当	4,422,758		
法定福利費	14,202,455		
福利厚生費	89,046		
人件費計	176,789,635		
(2) その他経費			
旅費交通費	166,732		
諸謝金	1,063,886		
印刷製本費	1,010,170		
会議費	62,062		
地代家賃	5,026,550		
光熱水費	368,216		
通信運搬費	1,829,356		
広告宣伝費	1,884,906		
消耗品費	1,298,625		
備品購入費	78,034		
修繕費	276,650		
新聞図書費	10,813		
事業費	5,547,960		
研修費	135,228		
支払手数料	52,321		
震災等対策費	50,000		
管理運営費(キッズ)	6,826,685		
児童処遇費(キッズ)	3,595,984		
諸会費	8,000		
支払報酬	566,456		
保険料	167,560		
リース料	685,773		
補助金戻入金(キッズ)	6,573,216		
租税公課	20,000		
減価償却費	2,491,976		
その他経費計	39,797,159		
事業費計		216,586,794	

(単位:円)

科 目	金 額	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	355,665	
人件費計	355,665	
(2) その他経費		
教育研修費	5,928	
通信費	30,369	
水道光熱費	5,114	
旅費交通費	9,166	
接待交際費	21,280	
会議費	55,458	
事務用消耗品費	28,731	
地代家賃	22,500	
支払手数料	15,861	
リース料	27,231	
保険料	5,900	
租税公課	1,200	
諸会費	60,385	
支払報酬	25,344	
雑費	10,000	
寄付支出	2,000	
その他経費計	326,467	
管理費計		682,132
経常費用計		217,268,926
当期経常増減額		84,582
経理区分振替額		0
税引前当期正味財産増減額		84,582
法人税・住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		10,082
前期繰越正味財産額		12,791,722
次期繰越正味財産額		12,801,804

## 貸借対照表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和7(2025)年 3月 31日現在

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	689,064		
預金	31,363,563		
売掛金	2,155,100		
未収金	732,200		
前払費用	694,084		
立替金	198		
仮払金	0		
<b>流動資産合計</b>		<b>35,634,209</b>	
<b>2 固定資産</b>			
什器 備品	711,182		
敷金	952,908		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,664,090</b>	
<b>資産合計</b>			<b>37,298,299</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	20,585,147		
前受金	309,000		
預り金	2,962,248		
仮受金	640,100		
<b>流動負債合計</b>		<b>24,496,495</b>	
<b>負債合計</b>			<b>24,496,495</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			12,801,804
(当期正味財産増加額)			10,082
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>37,298,299</b>

## 貸借対照表

(その他の事業会計)

令和7(2025)年 3月 31日現在

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	0		
預金	0		
未収金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		0	
<b>2 固定資産</b>			
什器備品	0		
ソフトウェア	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
<b>資産合計</b>			0
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
<b>負債合計</b>			0
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			0
(当期正味財産増加額)			0
<b>負債及び正味財産合計</b>			0

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和7(2025)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ	
科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	現金手許有高	689,064	
普通預金	横浜銀行反町支店	5,920,374	
	横浜銀行市庁支店	18,166,524	
	横浜銀行本店営業部	6,659,680	
	ゆうちょ銀行	616,985	
売掛金	(事業収入)	2,155,100	
未収金	(事業収入)	732,200	
前払費用		694,084	
立替金		198	
	流動資産合計		35,634,209
2 固定資産			
	什器 備品	711,182	
	敷金	952,908	
	固定資産合計		1,664,090
	資産合計		37,298,299
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(3月分の人件費・法人税・補助金戻入等)	20,585,147	
前受金	(次年度分の会費)	309,000	
預り金	(源泉所得税・社会保険等)	2,962,248	
仮受金	(冊子売上、保険料)	640,100	
	流動負債合計		24,496,495
	負債合計		24,496,495
	正味財産		12,801,804

財 産 目 録

(その他の事業会計)

令和7(2025)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	0	0	
	普通預金	0		
	前払費用	0		
	流動資産合計		0	
2 固定資産				
	什器備品	0		
	ソフトウェア	0		
	敷金	0		
	固定資産合計		0	
	資産合計			0
II 負債の部				
1 流動負債				
	未払金	0		
	前受金	0		
	預り金	0		
	流動負債合計		0	
2 固定負債				
	長期借入金	0		
	固定負債合計		0	
	負債合計			0
	正味財産			0